

関連イベント

びじゅつかん探検隊

美術館には不思議がいっぱい! 自由に対話しながら作品鑑賞を楽しみましょう。

◎ こども探検隊

日時 | 7月26日(土) 10:00 ~ 1時間程度
対象 | 小学生以下の子どもとその保護者
参加費 | 無料、要申込(専用フォームにて受付)

◎ おとな探検隊

日時 | 7月26日(土) 14:00 ~ 1時間程度
対象 | 中学生以上、どなたでも
参加費 | 無料(要観覧券)、要申込(専用フォームにて受付)

夜間特別開館 × ミロコマチコ LIVE PAINTING

音楽とともにミロコマチコが自由に描いていく、その場限りの絵と音のセッションをお楽しみください。

日時 | 7月26日(土) 開場 17:30・開演 18:00
会場 | 本館1階交流スペース外ウッドデッキ
出演 | 絵 / ミロコマチコ(画家・絵本作家)
音楽 / 田辺玄、maika、あだち麗三郎
参加費 | 無料(要観覧券)、申込不要
※当日は夜間特別開館(17:00 ~ 20:00)となります
※天候や諸般の事情により、内容が変更となる場合があります

アップル × アップル

城山動物園とのコラボイベント! 作品《アルダブラゾウガメアップルさん》をご本亀?! のアップルさんに見せに行こう!

日時 | 8月23日(土) 10:00 ~ 12:00
会場 | 展示室1・2・3、城山動物園
講師 | 大曾根俊輔(乾漆彫刻家)
塚田泰佑(城山動物園学芸員)
参加費 | 無料(要観覧券)、要申込(専用フォームにて受付)

出品作家によるオープントーク

作品のあんなことやこんなこと? 「いきもの」をつかった人と一緒に展示室内を歩いてみましょう。

日時 | 8月16日(土) 10:00 ~ 11:00
岡江真一郎(アニメーション作家)
8月30日(土) 10:00 ~ 11:00
富岡奈津江(陶芸家)、富田菜摘(美術家)
会場 | 展示室1・2・3
参加費 | 無料(要観覧券)、申込不要

担当学芸員によるオープントーク

日時 | 9月6日(土) 10:00 ~ 11:00 頃
会場 | 展示室1・2・3
参加費 | 無料(要観覧券)、申込不要

※上記以外にも展覧会関連イベントを開催予定です。
※イベントの詳細は美術館ホームページ内イベントページをご覧ください。

Event



ミロコマチコ



田中彰



大曾根俊輔



岡江真一郎



富岡奈津江



富田菜摘



イベントページはこちら! →

諸般の事情により、会期等に変更が生じる場合があります。
最新情報は美術館ホームページをご覧ください。
Please check the museum website for the latest information.

日本語



English



リピーター割引

本展の半券をお持ちいただくと、観覧料が半額になります。1枚につき1名様有効。

観覧料

一般1,000(900)円、大学生及び75歳以上800(700)円、高校生以下又は18歳未満無料
※コレクション展[本館・東山魁夷館]との共通料金: 一般1,500円、大学生及び75歳以上1,100円
※()内は20名以上の団体料金 ※割引の併用不可
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料
※高校生、大学生及び75歳以上の方は、身分が確認できるものをご提示ください

▶A Living Tapestry exhibition:
General: 1,000yen (900yen)
University students & visitors aged 75 and over: 800yen (700yen)
High school students & visitors under 18: Free
▶Combined ticket with the Collection Exhibition [Main Building & Higashiyama Kai Gallery]:
General: 1,500yen
University students & visitors aged 75 and over: 1,100yen
※ Prices in parentheses () indicate group rates for 20 or more people. ※ Discounts cannot be combined. ※ Admission is free for visitors with a disability certificate (Physical Disability Certificate, Rehabilitation Certificate, or Mental Disability Certificate) and one accompanying person. ※ High school students, university students and visitors aged 75 and over are required to show IDs.

アクセス

長野県立美術館には、一般来館者のための駐車場はありません。公共交通機関、または近隣の有料駐車場をご利用ください。城山公園駐車場をご利用の場合、観覧券のご提示により、駐車料金の割引があります。なお、併設の東山魁夷館北側の駐車場は「信州パーキング・パーミット制度」専用駐車場です。
There is no general visitor parking available at the Nagano Prefectural Art Museum. Please use public transportation or nearby toll parking lots. *The parking space located at the north of the annex, Higashiyama Kai Gallery, is a dedicated parking lot for the Shinshu Parking Permit Program.



▶バス(アルピコ交通)
JR長野駅善光寺口バス乗り場①から乗車時間約15分
[11系統] 善光寺経由宇木行、[16系統] 善光寺・若槻団地経由若槻東条行、[17系統] 善光寺・西条経由若槻東条行/いずれも「善光寺北」下車 徒歩3分
[10系統] 善光寺行(びんずる号)「善光寺大門」下車 徒歩10分(土日祝日は「城山公園前」下車 徒歩1分)
▶鉄道(長野電鉄)「善光寺下駅」下車 徒歩15分

▶by Bus | From the No.1 bus stop of the Zenkoji Exit bus station at the JR Nagano Station. | ① take the AlpiCo buses Route11, Route 16, or Route 17, and get off at the Zenkoji-kita bus stop. The museum is a 3-minute walk east from the stop. | ② take Binzuru-go buses, and get off at the Zenkoji Daimon bus stop.
▶by Train (The Nagano Dentetsu Line) | Get off at the Zenkoji-shita Station. The museum is a 15-minute walk northwest from the station.

〒380-0801
長野県長野市箱清水 1-4-4



長野県立美術館
Nagano Prefectural Art Museum

1-4-4 Hakoshimizu, Nagano-shi,
Nagano 380-0801
Tel. 026-232-0052
https://nagano.art.museum/

大曾根俊輔
Osone Shunsuke
岡江真一郎
Okae Shinichiro
田中彰
Tanaka Sho
富岡奈津江
Tomioka Natsumi
富田菜摘
Tomita Natsumi
ミロコマチコ
Mirokomachiko

2025.7/19 SAT [土]
→ 9/15 MON [月・祝]

2025年7月19日(土) ~ 9月15日(月・祝)
開館時間 | 9:00 ~ 17:00
※夜間特別開館7月26日(土)は20:00まで開館
(展示室入場は閉館30分前まで)

休館日 | 水曜日
会場 | 長野県立美術館 展示室1・2・3
主催 | 長野県、長野県立美術館
共催 | 長野県教育委員会
後援 | 長野市、長野市教育委員会、長野商工会議所、善光寺、長野県芸術文化協会、長野県美術教育研究会、(公財)八十二文化財団、(公財)ながの観光コンベンションビューロー、JR東日本 長野支社、信濃毎日新聞社、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、FM長野、INC長野ケーブルテレビ
協力 | 長野市城山動物園、長野市茶臼山動物園

A Living Tapestry

2025.7.19 sat - 9.15 mon, Open | 9:00-17:00 *Open until 8pm on July 26. (Last admission 30min. before closing.)
Closed | Wednesday, Venue | Exhibition galleries 1, 2, 3 of the Nagano Prefectural Art Museum

A Living Tapestry

大曾根俊輔(キリン ミモさん) (2023) 撮影:吉江淳 画像提供:太田市美術館・図書館
岡江真一郎(コナラのそはのわたしたち) (2025)

NOM 長野県立美術館
Nagano Prefectural Art Museum

田中 彰 (木版画家)
Tonako Sho

1988年岐阜県出身。2015年武蔵野美術大学大学院版画コース修了。茨城県を拠点に活動。フィールドワークを通して木や動物、釣り、コーヒーなどをモチーフに、人間と自然との関わりを木版画をベースに表現する。またワークショップも重要な活動のひとつになっており、電熱ペンで焼いて作る木版画、海の水深を測る、葉っぱを粉にして固めた植物パステルがある。主な展覧会に「町田芹ヶ谷えごのき縁起」東京(2019)など。



《Kouika Awashima Kagawa》(2023)



《Gaya-4(Ezomebaru) Shirai Port Hokkaido》(2023)



上：《トラはゆく》(2025) 下：《コナラのそばのわたしたち》(2025)(新作のためのドローイング)

岡江 真一郎 (アニメーション作家)
Okae Shinichiro

1985年鹿児島県生まれ。東京藝術大学大学院映像研究科メディア映像専攻修了。アニメーション映像と音楽を制作し、映像作品での発表や、それらを組み合わせたライブパフォーマンスでの発表などを行なっている。動きや形、日常の中に溢れる些細な事柄をモチーフにした作品制作のほか、教育番組内コンテンツやミュージック・ビデオ制作など幅広く活動している。



左：《ヤギ》(2016) 中央：《ゴリラ_2》(2017)
右：《キンコウ》(2015)
©SAKURAI tadahisa

みんなのなかの
「いきもの」
ってなに？

What does "living being" mean to you?

私たちの周りには、たくさんの「いきもの」がいます。動物や植物、小さな虫や水の中のいきもの、そして人間もそのひとつです。

しかし、「いきもの」とは一体何なのでしょう。動いたり、ごはんを食べたり、増えたりするもの？ それとも、もっとふしぎな存在？

この展覧会では現代作家6人が、それぞれの視点を通して作品にした「いきもの」の姿をご紹介します。

富岡 奈津江 (陶芸家)
Tomioka Natsumi

1985年東京都生まれ。2010年多摩美術大学大学院美術研究科陶専攻領域修了。陶を用いて人間以外のいきものをモチーフとした作品を制作。皮膚や毛などの表面の質感と色調に特徴があり、粘土で細かいピースを作りながらモデリングし釉薬を細かくかけたのちに窯で焼成することにより作品が完成する。「富岡奈津江展 陶のいきもの」平塚市美術館(2022)など、美術館やギャラリーでの個展やグループ展を中心に活動。



富田 菜摘 (美術家)
Tomito Natsumi

1986年東京都生まれ。2009年多摩美術大学絵画学科油画専攻卒業。金属廃材の動物作品や、新聞紙や雑誌を素材にした人物作品など、身近な素材を用いてユニークな作品を制作。中村屋サロン美術館、ヤマザキマザック美術館をはじめ、シンガポール、香港など、国内外で個展を多数開催。また、多くのグループ展で作品を発表。病院やTVスタジオでの作品設置、パブリックアート、行政や企業とのコラボレーション等、多方面で活動。



《家宮6》(2021)

大曾根 俊輔 (乾漆彫刻家)
Osone Shunsuke

1978年神奈川県生まれ。武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科木工専攻卒業、東京藝術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻修了。卒業後、京都にある美術院 国宝修理所に入所。仏像の修復に携わる(2015年退所)。修復の仕事で培った技術を元に、主に乾漆の技法を用いて動物彫刻の制作を行う。近年では個展「どうぶつとはなし 大曾根俊輔 乾漆彫刻展」太田市美術館・図書館、「大地の芸術祭 越後妻有トリエンナーレ」への参加など。



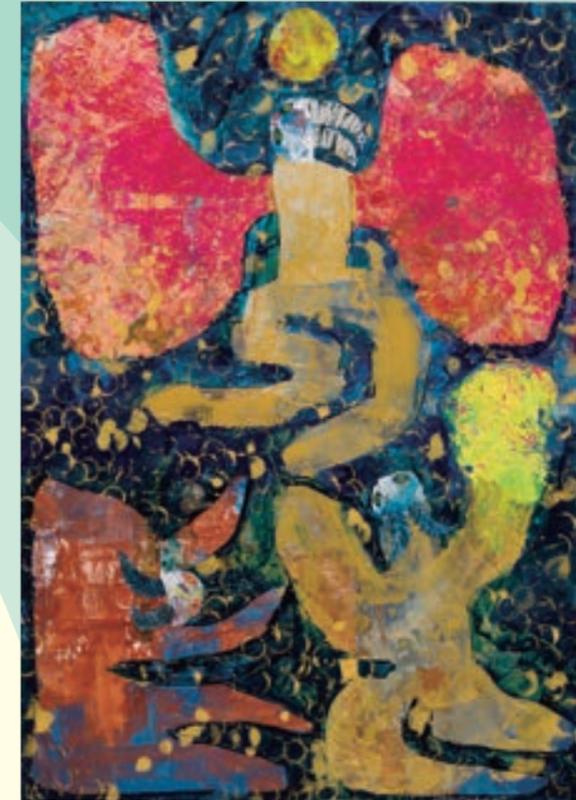
《アルダブラソウガメ アップルさん》(2017)
撮影：吉江淳 画像提供：太田市美術館・図書館



《アマガエル》(2025)

ミロコマチコ (画家・絵本作家)
mirocomachiko

1981年大阪府生まれ。絵本からライブペインティングまで活動は多岐にわたる。自然の動きと密接なつながりを感じながら、見えないものの気配や生命の煌めきが濃厚に漂う作品を制作。2012年『オオカミがとぶひ』（イースト・プレス）で絵本デビュー。同作で第18回日本絵本賞大賞を受賞、『けもののおいがしてきたぞ』（岩崎書店）がBIBで金牌を受賞。2020年より「いきものたちはわたしのかがみ」が全国美術館を巡回。



《月夜のおどり》(2023)

Living Tapestry



《家宮15》(2021)



《ステイシー》(2018)